

地域自殺実態プロファイル【2017】

【東京都中野区】

(行政区コード：131148)

推奨される重点パッケージ

重点パッケージ	子ども・若者 勤務・経営 無職者・失業者 生活困窮者
---------	-------------------------------------

「推奨パッケージ」は下記の「地域の自殺の特徴」の上位の3区分の性・年代等の特性と「背景にある主な自殺の危機経路」を参考に選定している。（「主な自殺の危機経路」は、自殺実態白書 2013 に基づき、あくまでも、該当する性・年代等の特性に応じ、全国的に見て代表的と考えられる「自殺の危機経路」を示すものであり、提示された経路が唯一のものではない。）

自らの自治体で実施すべき具体的な施策については、推奨パッケージをまず目安として確認いただき、その上で次頁の「地域の自殺の特性の評価」（人口 10 万あたりの自殺率等の全国の中での相対的な指標値をもとに評価している）等、地域自殺実態プロファイルの他の詳細データ等を勘案して検討いただきたい。

※なお、5 人未満のセルが含まれる数表は、個人情報保護のため非公開とした。

■地域の自殺の特徴

・東京都中野区の自殺者数は H24～28 合計 333 人（男性 224 人、女性 109 人）（自殺統計（自殺日・住居地））（3 頁「全般的な状況」参照）

地域の主な自殺の特徴（特別集計（自殺日・住居地、H24～28 合計））

上位 5 区分	自殺者数 5 年計	割合*	自殺率** (10 万対)	背景にある主な自殺の危機経路***
1 位: 男性 20～39 歳有職独居	34	10.2%	25.8	①【正規雇用】配置転換→過労→職場の人間関係の悩み+仕事の失敗→うつ状態→自殺/②【非正規雇用】(被虐待・高校中退)非正規雇用→生活苦→借金→うつ状態→自殺
2 位: 男性 40～59 歳無職独居	27	8.1%	213.7	失業→生活苦→借金→うつ状態→自殺
3 位: 男性 20～39 歳無職独居	24	7.2%	92.7	①【30 代その他無職】失業→生活苦→多重債務→うつ状態→自殺/②【20 代学生】学内の人間関係→休学→うつ状態→自殺
4 位: 男性 60 歳以上無職独居	18	5.4%	56.5	失業(退職)+死別・離別→うつ状態→将来生活への悲観→自殺
5 位: 男性 60 歳以上無職同居	18	5.4%	26.1	失業(退職)→生活苦+介護の悩み(疲れ)+身体疾患→自殺
(参考) 全自殺者	333	100.0%	21.3	

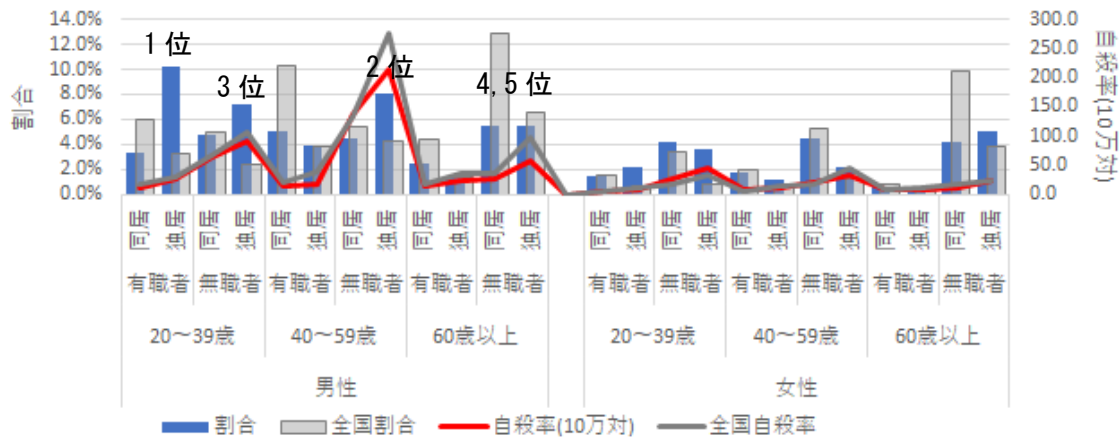
順位は自殺者数の多さにもとづき、自殺者数が同数の場合は自殺率の高い順とした。

*割合の母数は H24～28 自殺者数の合計 333 人。

**自殺率の母数(人口)は平成 27 年国勢調査を元に自殺総合対策推進センターにて推計した。

***「背景にある主な自殺の危機経路」は自殺実態白書 2013 (ライフリンク) を参考にした。

地域の自殺の概要 (グラフ) (特別集計 (自殺日・住居地、H24~28 合計))



■地域の自殺の特性の評価 (H24~28 合計)

	指標	ランク		指標	ランク
総数 ¹⁾	21.3	—	男性 ¹⁾	28.5	—
20歳未満 ¹⁾	4.9	★★	女性 ¹⁾	14.0	★
20歳代 ¹⁾	22.8	★	若年者(20~39歳) ¹⁾	23.4	★
30歳代 ¹⁾	24.0	★	高齢者(70歳以上) ¹⁾	15.2	—
40歳代 ¹⁾	21.0	—	勤務・経営 ²⁾	13.4	—
50歳代 ¹⁾	33.4	★	無職者・失業者 ²⁾	50.8	★
60歳代 ¹⁾	28.2	★	ハイリスク地 ³⁾	93%/-23	—
70歳代 ¹⁾	17.7	—	自殺手段 ⁴⁾	38%	—
80歳以上 ¹⁾	11.8	—			

1) 自殺統計にもとづく自殺率 (10 万対)。

2) 特別集計にもとづく 20~59 歳を対象とした自殺率 (10 万対)。

3) 自殺統計にもとづく発見地÷住居地 (%) とその差 (人)。100%を下回る場合は、住居地以外の場所で自殺する人が多いことになり、自治体内にいわゆる「自殺の名所」はないと推察される。

4) 自殺統計もしくは特別集計にもとづく首つり以外の自殺の割合 (%)。首つり以外の割合が多いと高い。

ランクの標章 (詳細は付表の参考表 2、3 参照)

ランク	
★★★/☆☆	上位 10%以内
★★/☆	上位 10~20%
★	上位 20~40%
—	その他
**	評価せず

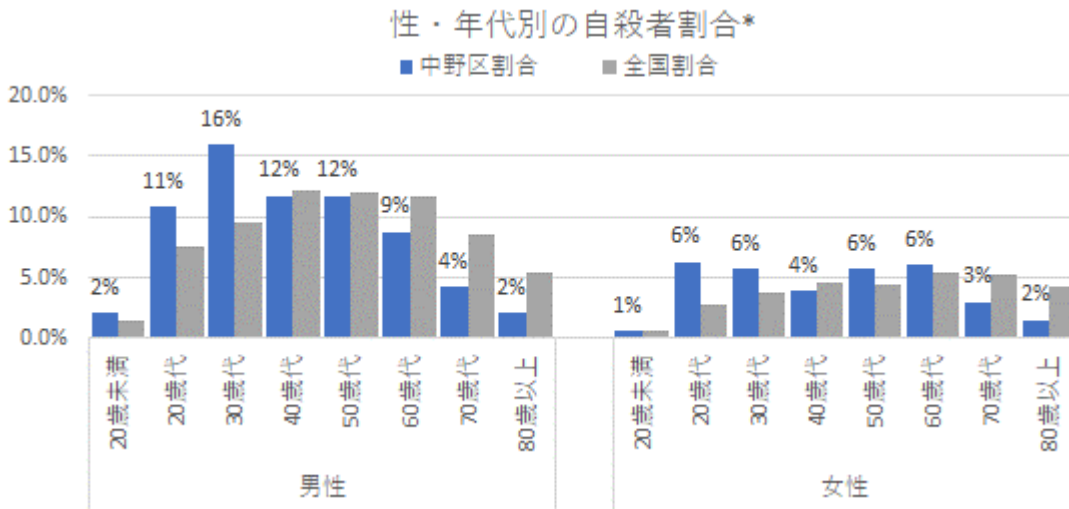
※市区町村について全国市区町村に対するランクを評価した。

■ 全般的な状況

	H24	H25	H26	H27	H28	合計	平均
自殺統計 自殺者数(自殺日・住居地)	62	77	58	65	71	333	66.6
自殺統計 自殺率(自殺日・住居地)	20.7	24.7	18.5	20.5	22.1	-	21.3
人口動態統計 自殺者数	56	63	56	64	61	300	60.0

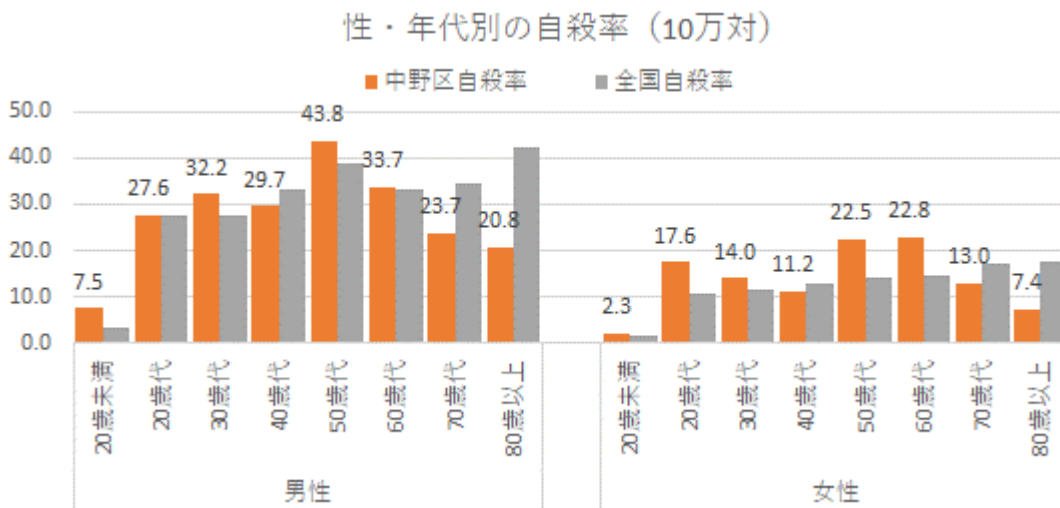
※人口動態統計は外国人を含まないので、警察の自殺統計との差(合計で33人)は外国人自殺者。

性・年代別 (H24~28年平均) (自殺統計(自殺日・住居地))



*全自殺者に占める割合を示す。

性・年代別 (H24~28年平均) (自殺統計(自殺日・住居地))



長期的な推移



■子ども・若者関連資料

児童・生徒等の内訳（特別集計（自殺日・住居地、H24~28 合計））

学生・生徒等 (全年齢)	自殺者数	割合	全国割合
高校生以下	5	29%	38%
大学生・専修学 校生等	12	71%	62%
合計	17	100%	100%

※20 歳未満の自殺率は男女とも全国より高い（3 頁参照）。

■勤務・経営関連資料

有職者の自殺の内訳（特別集計（自殺日・住居地、H24~28 合計））（性・年齢・同居の有無の不詳を除く）

職業	自殺者数	割合	全国割合
自営業・家族従業者	21	18.4%	21.4%
被雇用者・勤め人	93	81.6%	78.6%
合計	114	100.0%	100.0%

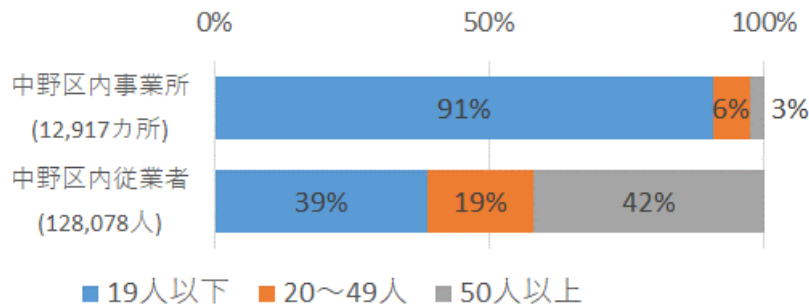
地域の就業者の常住地・従業地（H27 国勢調査）

		従業地		
		自市区町村	他市区町村	不明・不詳
常住地	自市区町村	33,967	89,293	16,869
	他市区町村	68,711	—	—

・中野区内常住就業者の 63.7%が他市区町村で従業している。また、中野区内従業者の 66.9%が他市区町村に常住している。

・地域によっては労働力状態不詳の割合が高く、実際の従業者数を反映していないことがある。

地域の事業所規模別事業所／従業者割合 (H26 経済センサス-基礎調査)



	総数	1～4人	5～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～99人	100人以上	出向・派遣 従業者のみ
事業所数	12,917	8,088	2,340	1,292	470	364	183	155	25
従業者数	128,078	17,083	15,274	17,327	11,098	13,565	12,353	41,378	-

労働者数 50 人未満の小規模事業場ではメンタルヘルス対策に遅れがあることが指摘されており、地域産業保健センター等による支援が行われている。自殺対策の推進の上でも地域の関係機関との連携による小規模事業所への働きかけがのぞまれる。

■高齢者関連資料

60歳以上の自殺の内訳 (特別集計 (自殺日・住居地、H24～28 合計))

性別	年齢階級	同居人の有無 (人数)		同居人の有無 (割合)		全国割合	
		あり	なし	あり	なし	あり	なし
男性	60歳代	13	16	15.3%	18.8%	18.1%	10.7%
	70歳以上	13	8	15.3%	9.4%	25.2%	9.3%
女性	60歳代	10	10	11.8%	11.8%	10.0%	3.3%
	70歳以上	6	9	7.1%	10.6%	16.5%	6.9%
合計		85		100%		100%	

高齢者 (65歳以上) の多くが無職のため、性・年代別の同居者の有無を示した。

※60歳代の自殺率は男女とも全国より高いが、70歳以上は男女とも全国より低い (3頁参照)。

■自殺手段関連資料 (自殺統計 (自殺日))

手段別の自殺者数の推移 (自殺統計 (自殺日・住居地))

手段	H24	H25	H26	H27	H28	合計	割合
首つり	38	49	43	36	42	208	62.5%
飛降り	10	11	3	9	11	44	13.2%
飛込み	1	4	3	5	6	19	5.7%
その他・不詳	8	7	6	10	12	62	18.6%
合計	62	77	58	65	71	333	100.0%

手段別の自殺者数の詳細（特別集計（自殺日・住居地、H24~28 合計）

手段	人数	割合	全国割合
首つり	208	62.5%	66.0%
首つり以外（小計）	125	37.5%	33.9%
服毒	9	2.7%	2.5%
練炭等	13	3.9%	7.5%
飛降り	44	13.2%	9.6%
飛込み	19	5.7%	2.3%
その他（小計）	38	11.4%	12.1%
その他のガス	9	2.7%	1.4%
刃物	12	3.6%	2.3%
入水	6	1.8%	3.4%
その他・不詳	13	3.9%	2.6%
合計	333	100.0%	100.0%

■自殺者における未遂歴の有無

自殺者における未遂歴の総数（自殺統計(再掲)もしくは特別集計（自殺日・住居地、H24~28 合計）

未遂歴	自殺者数	割合	全国割合
あり	75	23%	20%
なし	171	51%	60%
不詳	87	26%	20%
合計	333	100%	100%

■平成 30 年度（2018 年度）健康福祉に関する意識調査

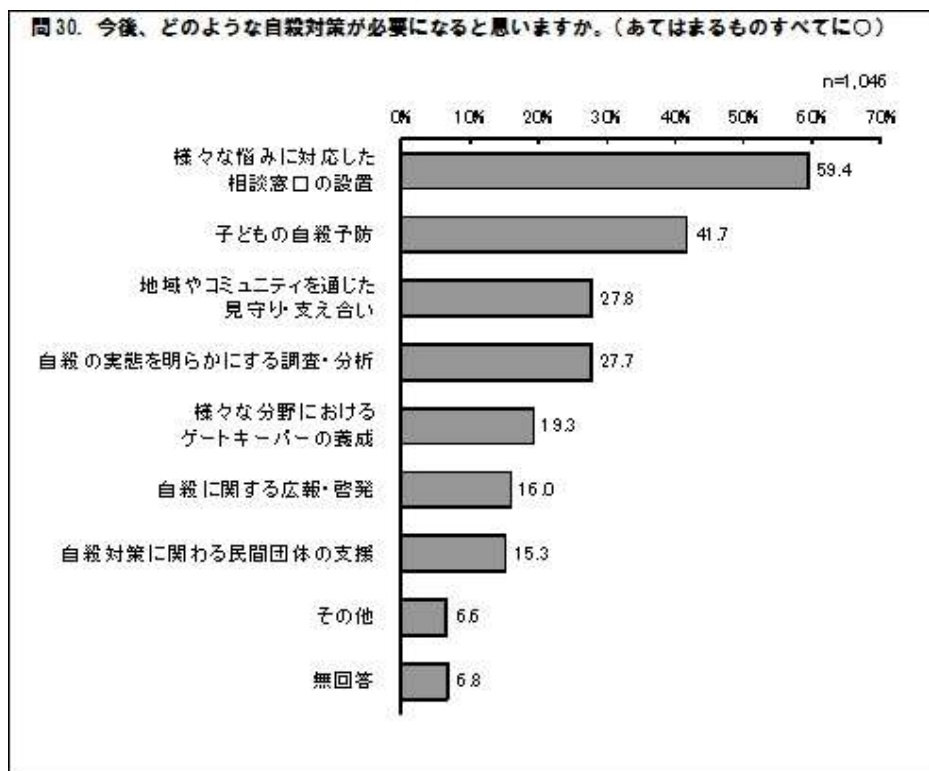
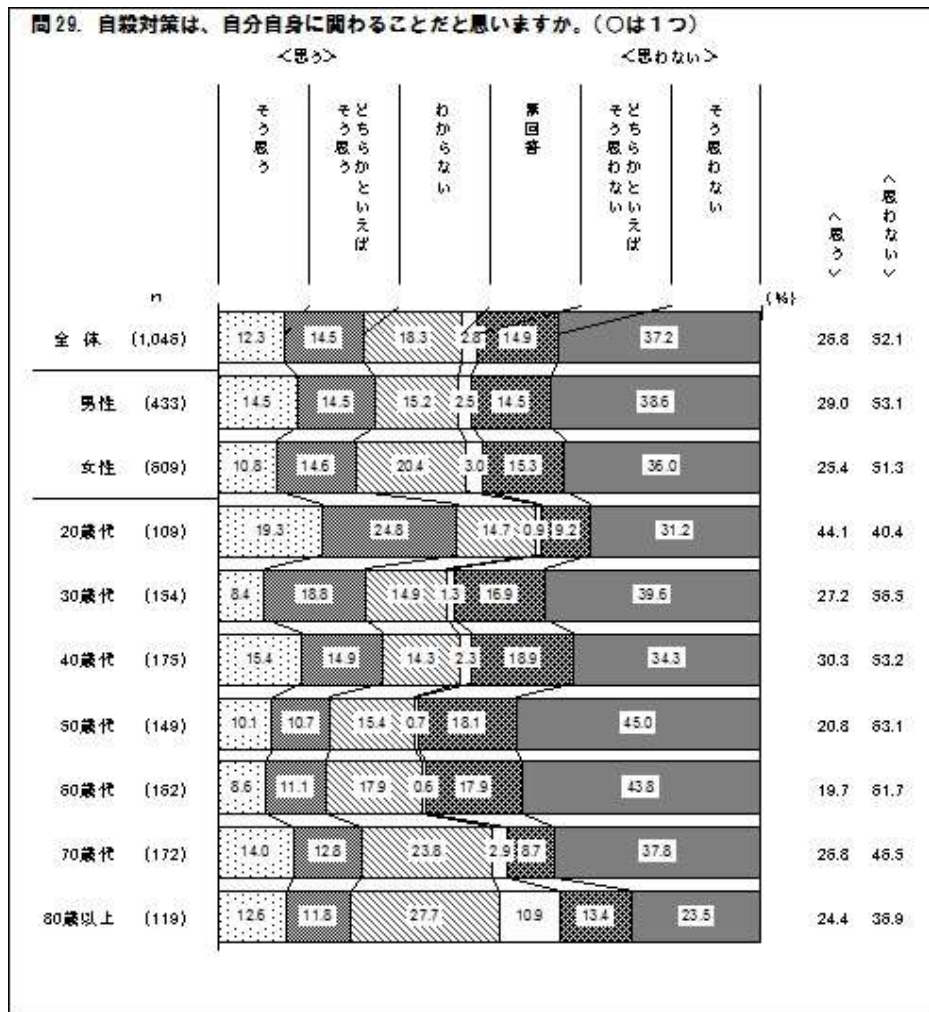
調査対象：満 20 歳以上の区民（基準日：平成 30 年 4 月 1 日時点 290,357 人）、調査地域：中野区全域、調査標本数：3,000 人、無作為抽出、郵送による配布・回収、調査期間：平成 30 年 5 月 7 日～5 月 31 日、調査機関：株式会社アイアールエス、有効回収数：1,046/3,000、回収率：34.9%

2.19. 自殺対策は自分自身に関わることと思うか

自殺対策は自分自身に関わることと思うかは、「そう思う」（12.3%）と「どちらかといえばそう思う」（14.5%）を合わせた＜思う＞が 26.8%に対し、「そう思わない」（37.2%）と「どちらかといえばそう思わない」（14.9%）を合わせた＜思わない＞は 52.1%となっている。性別にみると、＜思う＞で男性（29.0%）が女性（25.4%）を 3.6 ポイント上回っている。年代別にみると、20 歳代で＜思う＞が 4 割台半ばで他の年代と比較して特に高くなっている。

2.20. 今後必要な自殺対策

今後必要な自殺対策は、「様々な悩みに対応した相談窓口の設置」（59.4%）が最も高く、次いで「子どもの自殺予防」（41.7%）、「地域やコミュニティを通じた見守り・支え合い」（27.8%）、「自殺の実態を明らかにする調査・分析」（27.7%）が続いている。



■付表

参考表) 地域の自殺の特徴について

参考表 1) 生活状況別の自殺の背景にある主な危機経路の例

生活状況				背景にある主な危機経路の例
男性	20~39 歳	有職	同居	職場の人間関係／仕事の悩み(ブラック企業)→パワハラ+過労→うつ状態→自殺
			独居	①【正規雇用】配置転換→過労→職場の人間関係の悩み+仕事の失敗→うつ状態→自殺／②【非正規雇用】(被虐待・高校中退)非正規雇用→生活苦→借金→うつ状態→自殺
		無職	同居	①【30代その他無職】ひきこもり+家族間の不和→孤立→自殺 ②【20代学生】就職失敗→将来悲観→うつ状態→自殺
			独居	①【30代その他無職】失業→生活苦→多重債務→うつ状態→自殺 ②【20代学生】学内の人間関係→休学→うつ状態→自殺
	40~59 歳	有職	同居	配置転換→過労→職場の人間関係の悩み+仕事の失敗→うつ状態→自殺
			独居	配置転換(昇進/降格含む)→過労+仕事の失敗→うつ状態+アルコール依存→自殺
		無職	同居	失業→生活苦→借金+家族間の不和→うつ状態→自殺
			独居	失業→生活苦→借金→うつ状態→自殺
	60 歳以上	有職	同居	①【労働者】身体疾患+介護疲れ→アルコール依存→うつ状態→自殺 ②【自営業者】事業不振→借金+介護疲れ→うつ状態→自殺
			独居	配置転換／転職+死別・離別→身体疾患→うつ状態→自殺
		無職	同居	失業(退職)→生活苦+介護の悩み(疲れ)+身体疾患→自殺
			独居	失業(退職)+死別・離別→うつ状態→将来生活への悲観→自殺
女性	20~39 歳	有職	同居	離婚の悩み→非正規雇用→生活苦+子育ての悩み→うつ状態→自殺
			独居	①非正規雇用→生活苦→借金→うつ状態→自殺 ②仕事の悩み→うつ状態→退職/復職の悩み→自殺
		無職	同居	DV等→離婚→生活苦+子育ての悩み→うつ状態→自殺
			独居	①【30代その他無職】失業→生活苦+うつ状態→孤立→自殺 ②【20代学生】学内の人間関係→休学→就職失敗+うつ状態→自殺
	40~59 歳	有職	同居	職場の人間関係+家族間の不和→うつ状態→自殺
			独居	職場の人間関係+身体疾患→うつ状態→自殺
		無職	同居	近隣関係の悩み+家族間の不和→うつ病→自殺
			独居	夫婦間の不和→離婚→生活苦→うつ状態→自殺
	60 歳以上	有職	同居	介護疲れ+家族間の不和→身体疾患+うつ状態→自殺
			独居	死別・離別+身体疾患→うつ状態→自殺
		無職	同居	身体疾患→病苦→うつ状態→自殺
			独居	死別・離別+身体疾患→病苦→うつ状態→自殺

主な危機経路の例は自殺実態白書 2013 (ライフリンク) を参考にした。

参考表 2) 指標のランクの基準 (詳細)
当該自治体の各指標についての全国市区町村におけるランク

自殺率のランク		ハイリスク地指標のランク		自殺手段指標のランク (首つり以外の自殺手段の割合)	
★★★	上位 10%以内	☆☆	上位 10%かつ差+10 人以上	上位 10%かつ自殺者数 20 人以上	
★★	上位 10~20%	☆	上位 10~20% かつ差+5 人以上	上位 10~20% かつ自殺者数 20 人以上	
★	上位 20~40%	—	その他	その他	
—	その他	**	評価せず	評価せず	
**	評価せず				

参考表 3) 指標の各ランクの下限と中央値 (H24~H28 合計)

指標	★★★	★★	★	中央値
総数 (自殺率 10 万対)	~31.2	~26.2	~21.5	20.0
20 歳未満 (自殺率 10 万対)	~ 5.6	~ 3.5	~ 1.5	0.0
20 歳代 (自殺率 10 万対)	~35.2	~26.9	~19.1	16.2
30 歳代 (自殺率 10 万対)	~39.8	~29.2	~21.4	18.7
40 歳代 (自殺率 10 万対)	~44.6	~33.9	~25.2	22.0
50 歳代 (自殺率 10 万対)	~48.1	~38.4	~28.8	25.5
60 歳代 (自殺率 10 万対)	~41.6	~32.3	~25.1	22.6
70 歳代 (自殺率 10 万対)	~50.2	~37.6	~27.8	24.3
80 歳以上 (自殺率 10 万対)	~57.7	~42.6	~29.5	25.1
男性 (自殺率 10 万対)	~46.6	~38.1	~30.8	28.5
女性 (自殺率 10 万対)	~20.4	~15.9	~12.6	11.5
若年者 (20~39 歳、自殺率 10 万対)	~34.7	~26.7	~20.9	18.7
高齢者 (70 歳以上、自殺率 10 万対)	~48.4	~37.6	~28.3	25.9
勤務・経営 (20~59 歳、自殺率 10 万対)	~32.7	~24.8	~18.9	17.0
無職者・失業者 (20~59 歳、自殺率 10 万対)	~81.0	~59.7	~43.5	38.8

指標	☆☆	☆	中央値
ハイリスク地 (発見地÷住居地(%)とその差)	~143%かつ 差+10 人以上	~121%かつ 差+5 人以上	102%
自殺手段 (首つり以外の自殺手段の割合(%)。自殺者が 0 人の場合 0%とした。)	~44%かつ 自殺者 20 人以上	~40%かつ 自殺者 20 人以上	31%

たとえば、総数 (自殺率) が 28.0 のばあい、26.2 以上 31.2 未満なので★★に該当する。

付表 1 地域の自殺の概要 (グラフの元データ) (H24~28 合計) (非公開)

付表 2 性年齢階級別、職業 (8 区分)、同居の有無クロス表 (非公開)

付表 2-1 (参考) 付表 2 の上位 10 カテゴリー (5 人未満は表記せず)

区分 (H24~28 合計)	人数
1 男性 30 歳代 被雇用者 同居人無し	19
2 男性 30 歳代 その他無職 同居人無し	14
3 男性 20 歳代 被雇用者 同居人無し	13
4 男性 40 歳代 その他無職 同居人無し	10
4 男性 50 歳代 その他無職 同居人無し	10
6 男性 20 歳代 その他無職 同居人有り	8
6 男性 40 歳代 被雇用者 同居人有り	8
6 女性 60 歳代 その他無職 同居人無し	8
9 男性 30 歳代 被雇用者 同居人有り	6
9 男性 40 歳代 その他無職 同居人有り	6

他に同数の区分あり

付表 3 自殺者の性・年代別割合と自殺率 (10 万対) (資料: 付表 4, 5)

H24~28 合計		中野区割合	全国割合	中野区自殺率	全国自殺率
総数		100.0%	100.0%	21.3	19.6
男性		67.3%	68.9%	28.5	27.7
女性		32.7%	31.1%	14.0	11.9
男性	20 歳未満	2.1%	1.5%	7.5	3.2
	20 歳代	10.8%	7.5%	27.6	27.7
	30 歳代	15.9%	9.5%	32.2	27.6
	40 歳代	11.7%	12.2%	29.7	33.1
	50 歳代	11.7%	12.1%	43.8	38.9
	60 歳代	8.7%	11.7%	33.7	33.0
	70 歳代	4.2%	8.6%	23.7	34.6
	80 歳以上	2.1%	5.4%	20.8	42.4
女性	20 歳未満	0.6%	0.7%	2.3	1.6
	20 歳代	6.3%	2.8%	17.6	10.8
	30 歳代	5.7%	3.8%	14.0	11.4
	40 歳代	3.9%	4.6%	11.2	12.7
	50 歳代	5.7%	4.5%	22.5	14.4
	60 歳代	6.0%	5.4%	22.8	14.4
	70 歳代	3.0%	5.2%	13.0	17.4
	80 歳以上	1.5%	4.3%	7.4	17.7

付表 4 自殺者の推移 (自殺統計 (自殺日・住居地))

		H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H24~28 合計(人)
自殺者数	総数	81	70	82	62	77	58	65	71	333
男性	合計	59	44	56	41	48	35	51	49	224
女性	合計	22	26	26	21	29	23	14	22	109

付表 5 住民基本台帳に基づく人口（住基人口）（総務省）

		H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H24~28 合計(人)
人口	総数	300,497	300,009	299,167	299,673	312,303	313,665	316,625	321,734	1,564,000
男性	合計	150,787	150,637	150,356	150,671	157,018	157,717	159,469	162,336	787,211
女性	合計	149,710	149,372	148,811	149,002	155,285	155,948	157,156	159,398	776,789
男性	20歳未満	17,956	17,836	17,777	17,723	18,347	18,544	18,941	19,476	93,031
	20歳代	28,025	26,900	25,787	25,117	26,626	25,986	25,995	26,548	130,272
	30歳代	31,631	31,699	31,571	31,563	33,115	33,280	33,292	33,519	164,769
	40歳代	22,243	22,863	23,588	24,338	25,911	26,456	27,055	27,581	131,341
	50歳代	17,461	17,043	16,770	16,742	17,292	17,621	18,291	19,186	89,132
	60歳代	16,792	17,302	17,506	17,348	17,344	17,198	17,042	17,056	85,988
	70歳代	11,131	11,208	11,348	11,544	11,754	11,910	11,963	11,803	58,974
	80歳以上	5,548	5,786	6,009	6,296	6,629	6,722	6,890	7,167	33,704
女性	20歳未満	16,983	16,953	16,919	16,890	17,590	17,789	18,074	18,531	88,874
	20歳代	24,758	23,795	23,030	22,659	24,344	23,873	23,977	24,661	119,514
	30歳代	26,975	26,940	26,499	26,201	27,380	27,454	27,239	27,415	135,689
	40歳代	19,724	20,191	20,793	21,456	22,973	23,454	24,065	24,322	116,270
	50歳代	16,695	16,140	15,858	15,832	16,552	16,820	17,265	17,967	84,436
	60歳代	17,737	18,152	18,108	17,830	17,687	17,500	17,225	17,315	87,557
	70歳代	15,430	15,342	15,243	15,351	15,456	15,549	15,494	14,964	76,814
	80歳以上	11,408	11,859	12,361	12,783	13,303	13,509	13,817	14,223	67,635

付表 6 長期推移

年	人口動態統計 自殺者数	自殺統計		
		自殺者数	自殺率 (当該自 治体)	自殺率(全 国)
H11	80			
H12	61			
H13	56			
H14	57			
H15	75			
H16	71			
H17	62			
H18	63			
H19	76			
H20	77			
H21	78	81	27.0	25.6
H22	67	70	23.3	24.7
H23	82	82	27.4	24.1
H24	56	62	20.7	21.8
H25	63	77	24.7	21.1
H26	56	58	18.5	19.6
H27	64	65	20.5	18.6
H28	61	71	22.1	17.0

(自殺率は人口 10 万対)